

日装連会議 常任理事会を開催 標準見積書の研究、経営セミナー等審議

日装連は7月7日12時より、日装連会議室において、常任理事会を開催した。
最初に西浦理事長の挨拶の後、報告事項から会議を始めた。

平成27年度の第1四半期のラベルの支給枚数の報告が行われ、カーテンラベル、敷物ラベル、壁装ラベルの3つとも、それぞれ昨年比110%、141%、122%と昨年を超えており順調な立ち上がりであるが、今後も無駄使いが無いように慎重なる組合の運営を心掛ける様との指示があった。続いて審議事項に入った。

最初に、今年末までの常任理事会を始めとして各委員会等の日程の再確認及び各副理事長の今年度の行動計画についての発表が行われた。その中で、総務委員会については次回の開催日を10月29日の予定であったが、副理事長の都合により10月28日に変更となった。また、防災・施工管理委員会では、社会保険加入促進の意味から、法定福利費を別枠計上する「標準見積書」についての研究を、次回8月4日の委員会において行う事となった。

青年部・次世代委員会においては、関東青年部が中心となって4月、5月、6月と行った「経営セミナー」の、プロが撮影したDVDが完成したので、6枚1組消費税込み、振込手数料込みの1万円で各組合に頒布する事が決められた。更に必要であれば日装連事務局に申し込んで頂く。更に近畿ブロック青年部・次世代委員会で計画している、昨年に引き続いてのジャパンテックスでのセミナーについては、角田副理事長が近畿ブロック青年部・次世代委員会に出席して、実際の方向性を示してリードする事となった。

国交省の長福室長からのヒアリングについての依頼の件については、関東圏で対象の3社を選定して長福室長にメールする事とした。

最後にジャパンテックスにおける技能のデモンストレーションの概要についての説明が、7月3日に行われた1回目の打ち合わせの議事録に従って事務局より行われ、様々な意見が出されたので、今後の計画の中で検討してゆく事とした。

日装連新聞(第458号)より引用